

●カスミサンショウウオ現地視察会 15日午前10時より12時 京都府自然環境課と京田辺市環境課の出席がありました。昨年と同様今年1月22日にカスミサンショウウオの卵囊の発見、そして4月幼生として活発に活動していました。6月には更に大きく成長しているところを記録にとどめてきました。7月1日にはエラが縮小した成体への変化している7匹も見つけることができました。体長は5cmほどに成長していました。そこで関係官庁の皆様に関係官庁の皆様に現地を確認していただく場を持つことになりました。7月15日を指定して、京都府及び地元京田辺市の環境関係の出席を依頼し、確認いただきました。捕獲したり移動させたりすると1年以下の懲役とか50万円以下の罰金に処されるとされ希少生き物や植物の保護されている京田辺市里山の生物なのです。やましろ里山の会では10年前に最初の卵囊を発見以来、毎年調査を繰り返してきました。水たまりも細くなり広くしっかりしていた湿地も乾燥し、随分と小さくなって環境が変化をしました。最初に卵囊を発見以来見かけられませんでした。それが同じ山の向かい側で10年ぶりに卵囊カスミサンショウウオの生育地が見つかりました。昨年に引き続き卵囊が2年続きで確認され、とうとう幼生から成体になるところまで記録写真まで撮影ができました。今回この成果実績を踏まえて、府と市の環境関係者に現地確認をいただきました。当日は記録を取り続けていただいている金田さんに事前の準備をお願いしました。それで成体の確認と周囲に環境も体感いただくことができました。これから府や地元自治体において絶滅寸前種のカスミサンショウウオの保存が取り組まれるものと期待をしています。

●第3回目の夜の生き物調べ 15日16時～16日午前8時30分解散 25人の参加 第1回目の照明は普通の蛍光灯で小さな白布を広げて行いました。昨年はブラックライトを使って6mの白布を使って20時過ぎまで調査を行いました。集まった昆虫は約6000匹となり驚きました。そして今年3回目は同じブラックライトと同じ大きさの白布を使用して翌朝の5時まで点灯しました。すると集まってきた生き物は24000匹とアッと驚く数量になりました。蛾、ニイニイゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ カブトムシ、カミキリムシ、タマムシ、カナヘビ、ケラ、トノサマガエル アブ、ゲンゴロウ、コガネムシなどでした。小さな生き物が非常に多く集まっていました。この日には3歳、5歳の幼児から小学生3人がお父さんお母さんと参加しました。また近畿大学の生き物好きの女子学生5人も参加し、全員が徹夜で調査を行いました。午後9時ごろ東の山に月が昇り少し夜空の雰囲気が変わり山並みがハッキリしました。夜も更けて12時頃には小学生二人とお父さんお母さんも加わって調査が続いていました。このころから食卓に使った机には夜露が付き始めました。これから夜明けまで4時間余りです。まだまだ夜露が下りてきました。すごい量の水分がどこからともなく付着しました。気温も21度と随分と下がって、寒さを感じるほどになりました。頑張っていた皆さんも一人二人と体を横たえ始めました。女子学生の一人は眠たくない朝まで観察を続けました。午前4時頃東の空が白くなり始め、お月様は真上に上り輝きが薄くなりはじめました。眠っていた皆さんも気配を感じたのか少しずつ目覚められ、おはようの挨拶が聞こえました。新しい夜明け新しい一日の始まりとなりました。四時半過ぎごろすっかり濡れた机やイスを拭いて座る場所を作りました。夜明けの風景を里山農園で体験するのは初めてです。夜霧が充満し幽玄の世界から少しずつ晴れ上がり透明になっていく様子はまさに絶景でした。6時過ぎ朝食のご飯を持って森さんと伊藤さんが到着しました。味噌汁を作ってください全員でいただきました。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 17日9時30分～12時15分 77人の参加 チラシ案内の配布は7月10日月曜日に市町村の教育委員会に配布し、翌日火曜日に各小学校に届いています。水曜日になって早い小学校で児童に配布となりました。普通は木曜日に配布されたと思われます。開催予定日に往復はがきでは間に合わない事務所に直接来られた方もありました。こうしてわずか3・4日で62名の参加希望者がありました。すごいスピードでの参加申し込みです。これだけ木津川での川遊び・親子での魚とりに人気があってお待ちになっていたこととなります。時間があればもっと多くの皆さんが応募されていたに違いないと思われます。来年にはチラシ配布の余裕をもって1週間は早めなければならないので

はないかと反省しています。

当日 9 時 30 分には全員集合されました。そして当日参加の方もあって、用意したライフジャケットの数では足りなくなるほどたくさんご参加いただきました。開会の挨拶に続き諸注意を行い、木津川はどんな川のお話を行い、準備体操の後、ライフジャケットの装着を手早く済ませ、木津川本川に移動、先遣隊の河川レンジャー福井さんや北野君、南良さん中西さんの助言に従って上流と下流の 2 班に分かれて魚とりを開始、絶対に本流には近寄らないことを約束して、ガサガサ獲りの要領を実技指導して、保護者の出番ですよと伝えました。比較的魚の量は少なく思うように取れなかったのですが、子どもたちは満足でした。リリースに抵抗する姿もありました。11 時に休憩とし、水分補給と魚合わせ説明を北野君と福井さんから詳しく解説され、保護者も集中されていました。北野君の解説は上手なお話だったと感想がありました。続いて付近で自由時間とし、11 時 30 分から本川からの支流が作った流れの浅いところで川流れの実習を行いました。25m 下流部で保護者全員が子どもたちの流れ下ってくるのを待ち受けて救助役をすることにして、文字通り「親子で遊ぶ」を実行しました。子どもたちは眼の輝きが増して、暑い砂浜や石ころの上を走って何回も何回も挑戦していました。初回は要領がわからない子も 2 回目からはすっかり上手に流れ下ることができるようになりました。すごい発達経験です。記念写真では全員が揃ってこんなにうれしい楽しい笑顔がいっぱいでした。大満足だったことがうかがわれます。無事故で終了できました。ライフジャケットを借用させていただいた藤田カヌー様ありがとうございました。また暑い中やましろ里山の会のスタッフの皆様ご苦労様でした。そして河川レンジャーの方々色々お世話になりました。おかげで無事故で素晴らしいイベントとして大成功しました。

●京の七夕 笹竹の提供 京極商船外から写真提供 京都市の 7 商店街から笹竹の注文を受けました。そのうちの一つに新京極商店街から始めて要請が来ました。二日に分けて納品で、加えて撤収もお願いするということでした。京都人だったら新京極ということは京都を代表的するにぎやかな商店街で、一度は歩いておられる所です。ここに里山の会が提供する笹竹が使われることになります。値段にかかわらず随分と名誉なことです。設置場所は商店街の中心地の六角公園ということ。8 月 4 日と 8 日の二回の納品です。一度ご覧になってください、京田辺市の竹がここで使用されるのです。

●熱中症対策 十分な水分補給を これから本番 過日の夜の生き物調査会で、午前中の現地案内と連続したスタッフのうちのお一人が夕食直後に体調が悪くなって倒れるという事態になりました。熱中症ではないかと頭や手足を冷やして、回復を待ちました。約 1 時間の休憩で回復され自力で帰宅いただけました。私たち里山の会は各種イベントで参加者の皆さんに熱中症の注意を随分と呼びかけ対策をお願いしてきています。二日後の親子魚とりでも随分と注意し、参加者の様子に注意を払っています。梅雨も明けこれからいよいよ夏本番です。大いに注意の上に注意を払って活動をしなければなりません。

●次年度県外研修会 沖縄県石垣島諸島の自然観察が候補に挙がる 夜の生き物調査会で近畿大学の先生から現地ガイド役を引き受けると表明いただきました。長年石垣島の各島で生き物たちの調査活動をされて、生徒さんたちと活動をされているベテランさんで、大いに歓迎しますとのお話をいただきました。観光旅行で尋ねられていると思いますが自然観察、生物、草花などについて詳しい先生の解説や調査は一味違ったものでしょう。そして高速艇約 1 時間で各島を訪ねられるとのこと。この際に小浜島や西表島などは訪ねておきたいと思います。

●京都府こどもの水辺 8 月 19 日 八幡市 三川合流部 さくらであい館 参加者募集 午後の現地体験のみの参加も受け付けます。夏休みの活動としてご参加ください。 自然観察会 昆虫観察(桜谷保之先生・前近畿大学教授) 植物観察 野鳥観察(浜名先生) カヌー体験(藤田カヌーの藤田亨社長) 事前申込制優先(当日参加も可能)

●木津川に設置の水制工「大聖牛」の設置に向けて準備着々と進んでいます。まもなく設置場所が決定される見通しです。現地視察 8 月初旬 スケジュール(予定) 竹切り 9 月 30 日・10 月 1 日 竹割と蛇籠編み 10 月 7・8 日 設置日 10 月 21・22 日

夜の生き物調査の様子



魚とりで川流れ体験



親子で遊ぼう学ぼう魚とり

7月17日

カスミサンショウウオ現地視察会

